

平成 29 年度～平成 33 年度 社会福祉法人あかね会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人あかね会		法人番号	6 0300 0500 1778				
法人代表者氏名	立田 佐武朗							
法人の主たる所在地	埼玉県さいたま市見沼区大和田町 2-1218-9							
連絡先	048-688-1110 (法人事務所)							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	平成 28 年 8 月 11 日							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成 29 年 7 月 21 日 (税理士)							
評議員会の承認年月日	平成 29 年 6 月 20 日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (H28 年度 末現在)	1 か年度目 (H29 年度 末現在)	2 か年度目 (H30 年度 末現在)	3 か年度目 (H31 年度 末現在)	4 か年度目 (H32 年度 末現在)	5 か年度目 (H33 年度 末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	78,020	38,020						
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)								
本計画の対象期間	平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1 か年度目	見沼あかね保育園分園	保育所	新	鉄骨 2 階建 (0 歳児～2 歳児)	有	2 億 2 千万円
	小計					
2 か年度目						
	小計					

3か年度目						
	小計					
4か年度目						
	小計					
5か年度目						
	小計					
合計						

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

### 3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	見沼あかね保育園 分園
② 地域公益事業	
③ ①及び②以外の公益事業	

### 4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
	計画の実施期間における事業費合計	220,000 (千円)					
財源構成	社会福祉充実残額	40,000 (千円)					
	補助金	136,881 (千円)					
	借入金	40,000 (千円)					
	事業収益	0					
	その他	0					

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

## 5. 事業の詳細

事業名	見沼あかね保育園 分園	
主な対象者	0歳児～2歳児	
想定される対象者数	(定員) 0歳児：8名、1歳児：16名、2歳児：16名 計40名	
事業の実施地域	さいたま市見沼区大和田町2丁目1218-1 および1219-1	
事業の実施時期	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
事業内容	用途：保育所 種別：新築 規模等：鉄骨造2階建 構成：保育室(3室)、一時預かり(1室)、給食室(1室) 事務室(1室)、職員ロッカー室(1室) その他 トイレ、物入れ、玄関	
事業の実施スケジュール	1か年度目	平成29年7月着工、平成30年3月完成、平成30年4月開園
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	総工事費：218,160,000円 設計料：12,960,000円 福祉医療機構借入金：40,000,000円 助成金：136,881,000円 保育園負担：54,239,000円	
	合計	231,120千円(うち社会福祉充実残額充当額40,000千円)

<p>地域協議会等の意見と その反映状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開設予定について</li> <li>・ 現場管理について</li> <li>・ 騒音・振動防止について</li> <li>・ 交通対策について</li> <li>・ 近隣建物の保全について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業時間について</li> <li>・ その他（苦情の処理）</li> </ul> <p style="text-align: right;">※ ⇒賛同していただきました。</p>
------------------------------	--	--

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

## 6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

初年度に分園建設費用として 40,000,000 円を充当させますが、次年度以降に内装整備の追加等で建設費用が増額になることが予想されます。従って、その増額分については本残額の残金（38,020,000 円）を充当させる予定です。